

ポータル データの 大学戦略

北海道情報大学 西平順学長

- 39 -

北海道江別市に立地する北海道情報大学（西平順学長、経営情報学部、医療情報学部、情報メディア学部、通信教育部）は、教育、食と健康、宇宙開発の分野で情報技術を用いて研究開発を進めている。特に北海道の農畜産物の成分をデータベース化し、ブランド向上に貢献するなど、政府・自治体とも連携した独自の取り組みを行っている。大学を先導する西平順学長に聞いた。

○3つの特色ある取り組み
西平学長は、次世代ICT社会を見据えた同大学の取り組みとして3つを挙げる。

1つが「教育」である。同大学が所属する「電子開発学園（eD C）グループ」は長年、衛星通信教育をはじめeラーニングやICT教育に実績がある。そのシステムを大学にも導入し、これまでFD活動支援システム「CANVAS」やeラーニング機能も有する学習管理システム「POLITE」によって主体的学びを支援してきた。これらは文部科学省「私立大学教育研究活

健康」に結び付けている。3つ目が、西平学長の専門領域でもある「食と健康」。今こそ当たり前の取り組みである。西平学長は振り返る。

個別最適化された食品で健康に
ポータルティア被験者200人程度に協力してもらい、品種改良した玉ねぎ1個を半年ほど毎日食べてもらう。臨床試験の前後に血液、DNA、腸内細菌などを調べてデータを比較する。すると、認知機能の改善に有

機構食品加工研究センターなどと包括協定を結び、途切れない財政的支援に結び付けた。この取り組みの一番の成果は、長年のデータやノウハウの蓄積だと力を込める。現在は疾病予防や健康増進のための「健康アプリ」をスマホに導入し、江別市の健康増進事業に

積である。「江別市や札幌市とも連携しながら、北海道各市町村長にデジタル化や道民のヘルスリテラシー強化を推進し、地産地消で地域の食材を使って地域農業の活性化していきたい。基本的には自分で健康を管理していくツール。自分でデータを入れ

が弱い。きちんと臨床結果に基づいて主張している必要があります」。POLITEを連携させながら、学生の学修ポートフォリオを作りやすくしたり、eラーニングコンテンツを視聴しやすくしたり、教員の授業改善に結び付けたりして、より有機的に学習者本位の教育を行うべく新しいシステムを構築しようとしています。通信教育部ともより密接に連携させます」。

個性輝く研究を推進

独自システムで個別最適学習

自分自身に合った食と健康法を見つけてます。最終的には、全国一人ひとりのライフステージに合わせた個別の健康食情報の発信に結び付けていきたいと思います」。

食の臨床試験は、全国から問い合わせがあり取り扱う食材も全国に広がった。いまや我が国の「食と健康と情報」の屋台骨を支える重要拠点になりつつある。「食の機能性で世界的に論文数が多いのは地中海地域です。日本食は健康だと言われているけど、科学的なエビデンス

員の教育力の向上が不可欠です。CANVAS、POLITEを連携させながら、学生の学修ポートフォリオを作りやすくしたり、eラーニングコンテンツを視聴しやすくしたり、教員の授業改善に結び付けたりして、より有機的に学習者本位の教育を行うべく新しいシステムを構築しようとしています。通信教育部ともより密接に連携させます」。

同時に学生のリーダーシップを促したいと語る。「情報教育というところから学習管理システム（LMS）の構築が進んでいました。そのため、コロナ禍でもしっかりと扱う食材も全国に広がった。いまや我が国の「食と健康と情報」の屋台骨を支える重要拠点になりつつある。「食の機能性で世界的に論文数が多いのは地中海地域です。日本食は健康だと言われているけど、科学的なエビデンスが弱い。きちんと臨床結果に基づいて主張している必要があります」。POLITEを連携させながら、学生の学修ポートフォリオを作りやすくしたり、eラーニングコンテンツを視聴しやすくしたり、教員の授業改善に結び付けたりして、より有機的に学習者本位の教育を行うべく新しいシステムを構築しようとしています。通信教育部ともより密接に連携させます」。

再構築し、卒業後に「ここで学んでよかった」と誇りを持ってくれる大学にしていきたい」と力を込める。

このラーニングコミュニティ構築は、将来的には市全体に拡大し、情報知識技術が学べて、情

報系企業が集まる地域にしたいと西平学長。

「そのためには大学も根本的に変わっていかないと呼ぶにふさわしい。その先頭に立つのが西平学長であり、政府や自治体が推進する政策の先を見据えつつ、大学の強みを活かした先進的な研究を行い、それを学生の教育に結び付けている。

と合わせて色々と対応ができると思います。そして各領域を繋げるのが大学院ですから、この強化も進めていきたい」。

これからの大学は連携の時代と言われる。そこで重要なのは、連携に相応しい尖った領域を持つことである。北海道情報大学は、小規模だがひとつの研究領域が力強く、まさに個性輝く大学と呼ぶにふさわしい。

食の臨床実験

